

ひかり

2023年3月号



St. John

日本聖公会 三光教会

第711号

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nsskk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

創立 救主降誕 1912年(大正元年)11月2日

イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。

(ヨハネによる福音書 11:25~26)

サウルとダビデ II

司祭 アモス金 キム 大原 デウオン

サウル、不安に駆られる

ダビデが登場すると、サウルは何かに追われているようになりました。もとは、ダビデはサウルに採用されたハーブ奏者でした。悩みがある時にダビデの演奏を聞くと、不安と混沌が静まったのでした。そして、ダビデは戦場でサウルの武器を持ったこともあります。それほど信頼できる最側近だったということでしょう。しかし、ダビデがペリシテ人の戦士ゴリアトを殺し、敵を撃退してから事情が変わります。イスラエルの人々はダビデを英雄に思い、サウルは危機感を抱きます。

ルは恐れていました。自分の時代が過ぎ去っていることを感じたからです。

ダビデ、政治的人間

サウルに比べると、ダビデはとてども冷静で、政治的に行動する人でした。情熱を理性でコントロールすることができたということですね。イスラエルの人たちは理想的な人間としてダビデを選ぶことが多いですが、兄弟たちの評価は少し違っていました。ダビデがゴリアトと戦うために出た時に、長兄のエリアブは「お前の思い上がり」と野心は私が知っている（サム上17・28）と腹を立てて言いました。兄にとつてダビデは人あたりの良い弟ではなかったようです。

各々の道に

益にこだわって自分の土台を自分で壊すこともあるのが人間ですが、ダビデはずっと冷静さを失うことはありませんでした。

ダビデはサウルに会い、自分の憤懣やるかたなき思いを訴え、またサウルを殺す機会があっても殺さなかった証拠を見せると、サウルに「お前は私より正しい」（サム上24・18）と言われました。この一言でサウルは歴史の車輪がダビデの方に動いていることを認めているのです。その後、サウルは宮殿に、ダビデは自分の町に戻り、各々の道を歩みます。まだダビデの時になっていなかったわけです。その後、サウルはペリシテとの戦いで戦死しました。こうしてサウルの時代は暮れ、ダビデは人びとに推戴され、イスラエルの王になりました。新しい時代が開かれたのです。

その後、サウルはダビデを殺そうとし、ダビデは逃げてばかりいました。ダビデの部下たちはサウルを殺すことを提案しますが、ダビデは断りました。「主が油を注がれた方に、私が手をかけ、このようなことをするのは、主は決して許されない」（サム上24・6）と思ったからです。目先の利

神の時は早めることも遅らせることもできません。その時を見分けることが知恵です。神はすべての時を良い物とされました。問題は、過去にとらわれ、未来を心

配して、今の自分の時を思う存分
生きる事ができない愚かさです。
皆さんはどんな時を過ごしている
でしょうか。

どんな時であつても明らか
なことが一つあります。「今や、恵
みの時、今こそ、救いの日」(Ⅱ
コリン6:2)であるということ
です。今は愛しなければなら
ません。今こそ誰かの抛り所となら
なければなりません。主イエス・キ
リストの愛と平和が、私たちの生
活の中に満ち溢れるようにと願
います。

3月、4月の予定

◆ 3月

- 19日(日) 大齋節第4主日
- 20日(月) 聖ヨセフ日
- 21日(火) 東京教区第140(定期)教区会
- 主教トマス・クランマー
- 聖マリヤへのみ告げの日
- 25日(土) 大齋節第5主日
- 26日(日)

◆ 4月

- 2日(日) 復活前主日
- 3日(月) 復活前月曜日
- 4月逝去者記念礼拝
- 主教リチャード
- 4日(火) 復活前火曜日
- 5日(水) 復活前水曜日
- 6日(木) 聖木曜日
- 7日(金) 聖金曜日(受苦日)
- 8日(土) 聖土曜日(イースター・ヴィジル)
- 9日(日) 復活日
- 10日(月) 復活後月曜日
- 11日(火) 復活後火曜日
- 12日(水) 復活後水曜日
- 13日(木) 復活後木曜日
- 15日(金) 復活後金曜日
- 16日(日) 復活節第2主日
- 21日(金) 主教会云博士アンセルム
- 復活節第3主日
- 23日(日)
- 25日(火) 福音記者聖マルコ日
- 29日(土) おとめシエナのカタリナ

いま協議されている事

5月8日(月)以降にコロナが5類
に移行されることに伴ない、三光教
会でのコロナ対策が少し変更になり
ます。

- ・窓の常時開放の中止(季節等を考
慮して開閉は臨機応変に行なう。)
- ・マスク着用については継続する。
- ・手指の消毒は受付と陪餐前に行な
う。

- ・検温は中止。
- ・受付パネル・説教壇・パネルの撤去。
- ・座席規則の解除。
- ・陪餐は引き続き陪餐で行なう。
- ・動画配信は中止。(スタッフの不足
と機器の不具合のため。)
- ・平和の挨拶は今まで通り。
- ・献金は事前に集めず、献金袋を
回す方法に戻す。

2023 大齋講話を開催

3月5日(日) 金大原 司祭
「信仰生活とコミュニケーション」

―コロナ禍の中で生き抜いた
めに―

3月12日(日) 市原信太郎 司祭
「改訂祈禱書の入信の式」につい
て

3月19日(日) 萩原充 執事
「ビクトール・フランクルに学ぶ
生きる態度」
ビクトール・フランクルは
オーストリアの精神科医、心
理学者。ナチスの強制収容所
での体験を記した『夜と霧』
の著者。

○教会での駐車について

三光教会では毎主日とクリスマス、イースターなどの時に香蘭女学校エントランス部分を駐車場としてお借りしてきましたが、3月26日(日)をもって駐車場としての使用をやめることにしました。その理由は、

①利用者の減少

信徒の減少、高齢化により、礼拝出席者が減り、最近では香蘭に駐車する数が2〜3台程度しかなく、少し無理をすれば教会の敷地内に収容が可能と考えられます。

②駐車管理費の不足

駐車献金によって香蘭の駐車場の管理を賄ってきましたが、今年度21名の方からの献金額では、シルバー人材センターへの支払額(約25万円)の半分にしかならない状態となっています。

以上のような状況から、これ以上の香蘭駐車場の継続は無理であることを教会委員会に諮り承認されました。事情をご斟酌の上、ご協力をお願い申し上げます。

(総務委員会)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

- 午前 7:00 早祷・嘆願
- 午前 7:30 聖餐式
- 午前 10:30 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
- 午前 10:30 聖餐式
- 午後 4:00 夕の礼拝

■平日礼拝

毎朝6:30の早祷に引き続いて、月、水、金は朝の礼拝、火、木、土は聖餐式